





先生 「おい、おい、宏！ お前から離れたら何している！」

先生 「先生、またおやつ来て、職員室に來なさい」

先生 「先生、大丈夫か？ と光哉に寄って来て、

先生 「光哉、先生、光哉の手を握って、

先生 「先生、一度、光哉の手を引いて歩いて行く。」

先生 「先生、その様子を見ていて行く。」

先生 「君も一緒に来てくれ。」

先生 「あ、先生について行く。」

○ 同・職員室・前廊下（回想）

少光と離れたところでは、上級生の3人、

立っでいる。と、3人とは逆方向に歩いてい

く。光と光哉、3人とは逆方向に歩いてい

上級生の3人、宏光と光哉を睨んでいる。

○ 先生、職員室に入ってきて、上級生の3

人、先生、職員室に入ってきて、上級生の3

男子生徒、宏光くん、一緒に帰ろう」

男子生徒、宏光くん、一緒に帰ろう」

男子生徒、宏光くん、一緒に帰ろう」

男子生徒、宏光くん、一緒に帰ろう」

男子生徒、宏光くん、一緒に帰ろう」

男子生徒、宏光くん、一緒に帰ろう」

宏光 「へ行く。  
光哉 「（泣きそうなの？」  
宏光 「来て！」  
光哉 「どうして？」

宏光 「お願い」  
光哉 「お願い」  
光哉 「走って行く。」

○ チビ公園・前道路（回想）

宏光 「ラン・ドセルを背負った状態で一人  
で歩いてくる。壁の影に隠れ、公園内を

見る。あの上級生3人、集まっている。

光哉

宏光 「走って逃げて行く。」  
光哉 「お願い」  
宏光 「走って行く。」

＊ 日は少し落ち、あたりは夕焼けに照らさ

＊ 上級生の3人、地面に座って、

賢人 浩

賢人 「明日、立ち上がり、一回行くぞ」  
3人 「口々に赤いマン・トとおもちやの变身ベル

賢人

賢人 「あいつは、宏光、立っている。」  
トをにつけた宏光、立っている。

○

場内

狭い部屋（夜）  
宏光 「紙に『俺は、あの場所に行きたけ  
とを後悔している。あの場所に行かなけ  
れば、と書く。』  
アナウンス 「消灯」  
電気が消える。消灯」  
宏光 「辺りを見ると、そこは壁と檻に

まがれた監獄の始まり。月光を頼りに紙に『あ

れが全ての始まり。所です。』と書き記して、思

べッ。来週、俺は出所する。』と書き記して、思